

コーチング学会に関連する各スポーツ分野の専門学術誌の最新動向

コーチングに関する総論的な内容、つまり一般原則を扱うコーチング学を大きく発展させていくためには、各論的な内容である各スポーツ種目の専門領域をも含めて、両者を体系的に理解し実践していくことが重要である。本企画は、このような理念の下、各分野の専門的な学術誌の最新動向を集約するために、掲載されている内容を論文、資料、特集、記事などに絞り（学会大会に関する内容は省略する）、紹介している。

これらの学術誌では、他の基礎科学研究領域には無い、実践研究分野としての立場からの有用な知的情報が蓄積されている。これらの分野が統合し、知の共有がなされる場としてコーチング学会が機能することを願ってやまない。

なお、本稿では、2014年に出版された学術誌の内容について紹介しているが、本稿執筆時点でその出版が確認できなかったものに関しては、紹介することができていないことをご了承ください。

荻山 靖（筑波大学）、凶子浩二（コーチング学研究編集委員長）

●水泳・水中運動学会：水泳水中運動科学，第17巻1号，2014

[原著論文]

競泳におけるキックスタートとトラックスタートの比較—性差を踏まえたパフォーマンスの検討—

尾関一将，桜井伸二，田口正公

[その他]

飛込競技における入水姿勢—前方回転，後方回転の入水姿勢の違い—

手塚武士，成田崇矢，谷口 徹，野村孝路，
金岡恒治

2013年度シンクロユースエリート・ジャンパー育成対象選手サポート活動報告

笹原千穂子，中川加奈子，深谷（清水）理絵，
藤島遥香，川合結万，本間三和子

平成25年度競泳ナショナル強化選手合宿（鈴鹿）における科学サポート

水藤弘吏，高橋篤史，村松愛梨奈，森誠 護，
松井 健

平成25年度エリート小学生研修合宿（競泳）における科学サポート

村松愛梨奈，浅井泰詞，寺西洋平，松田有司，
岩原文彦，松井 健

第36回（2013年度）全国ジュニアオリンピックカップ水球競技におけるゲーム分析サポート

乙女陽平，榎本 至，南 隆尚，川上 哲，
小森康加，洲 雅明

●スプリント学会：スプリント研究，第23巻，2014

[特集]

日本代表4×100mリレー～2000年から2008年まで

の戦略と変遷～

高野 進

[原著論文]

全力疾走の加速局面における疾走能力と身体部分長との間の関係

永原 隆，凶子浩二

[実践研究]

意識の変化が運動パフォーマンスに及ぼす影響—小学校での短距離走指導を通して—

民内利昭，坂田洋満

[資料論文]

標準動作モデルからみた男子高校サッカー選手のドリブルの動き出しに関するバイオメカニクス的研究

村越雄太，青山清英

[トレーニング・コーチング記録]

福島大学のトレーニングの歩み

川本和久

宮崎商業高等学校陸上部「夢ひとすじ」

高須 明

[スプリントに関する文献情報]

小倉幸雄

●日本スキー学会：スキー研究，第11巻1号，2014

[論文]

実滑走計測によるカービングターン・スキッピングターンの運動力学解析に関する研究

近藤亜希子，土岐仁，廣瀬 圭

受動型横ずれターンモデルの開発：ストレート内傾と股関節の内旋による複合モデル

清水史郎，土岐 仁，山根真紀，坂谷 充，
野尻奈央子

ノルディックスキーの紹介者オラウフ・ヘルセツト

新井 博

日本におけるスキー場の閉鎖・休業にみられる地域的傾向

呉羽正昭

マスターズスキーの現状:参加者の人数・性・年代・地域別特徴と県スキー連盟の取り組み

山根真紀, 武田 文

小型力センサを用いたスノーボード用雪面反力計測システムの開発に関する研究

近藤亜希子, 千葉 遥, 廣瀬 圭, 西川太郎,

土岐 仁

アルペンスキー選手のパワー発揮特性が咬合力に与える影響

星野宏司, 佐々木敏, 越野 寿

男子アルペンスキー選手における身体組成及び骨代謝・骨密度のシーズン変化についての縦断的研究

佐藤照友旭, 桜庭景植, 土屋陽祐, 丸山伸也,

越智英輔

[報告]

レルヒの日本観に関する一研究:“Japan”における結語を中心として

池田弘一

スキー・スノーボードの設計・解析のためのしまり雪の切削抵抗力の測定

多田憲孝

野沢温泉学園における特色ある教育のアプローチ

清水聡子

アルペンスキー用ヒールフリースラッププレートの開発

伴 好彦, 仁木國雄, 金子克巳, 齋藤 悟,

香川博之

バックカントリースキーツアーの安全対策の現状について:ツアー提供者の視点からの検討

坂谷 充, 井村 仁

●日本体操学会: 体操研究, 第11巻, 2014

[研究論文]

幼児の自発的な動きを引き出す遊具に関する事例研究～使用方法を示さない遊具「ピリポ」に着目して～

古屋朝映子, 田村元延

[研究ノート]

小学校中学年を対象とした「体づくり運動」教材の検討—Gボールを用いた運動指導に着目して—

田村元延, 古屋朝映子, 高橋靖彦, 鈴木王香,

長谷川聖修

「素早い往復走」における動きの質の高まりに関する研究

加納岳拓, 太田直己, 矢戸幹也

大学生による体ほぐしの運動実施後の気づき・調整・交流に関する記述

加藤 享, 古川善夫, 村田芳久

●日本テニス学会: テニスの科学, 第22巻, 2014

[原著論文]

大学女子テニス選手が試合でゲームを取得するには: アンフォースドエラーからの検討

平田大輔, 佐藤周平, 佐藤雅幸, 西條修光

テニスのバックハンドにおけるドロップショットの動作解析: バックハンドのスライスと比較して

岩月猛泰, 高橋正則

テニス競技のナショナルジュニア選手に求められる体力評価の検討

小屋菜穂子, 北村 哲, 梅林 薫, 宮地弘太郎,

道上静香, 細木祐子

[実践研究]

トップレベルテニス選手におけるモチベーションビデオ視聴が与える心理的効果: 個人および団体戦を対象とした実践研究

永尾雄一, 杉山佳生

[現場からのレポート (アイデア)]

テニス選手のパフォーマンス改善・向上を目的とした高重量縄跳び器具の開発

道上静香, 道上 修

●日本バレーボール学会: バレーボール研究, 第16巻 1号, 2014

[原著論文]

大学女子バレーボール選手における跳躍高および等速性膝関節筋力の関係

村本名史, 栗田泰成, 高根信吾, 瀧澤寛路,

平野幸伸, 稲村欣作, 古瀬由佳, 塚本博之,

河合 学

[研究資料]

ゲーム中の「流れ」の意図的創出に関する社会学的考察—元バレーボール日本代表加藤陽一選手を事例として—

木戸卓也

2012年度全日本中学長身者選抜バレーボール選手の心理的適性に関する研究—競技意欲における, 男女差

および競技不安に与える影響要因に着目して—

野口将秀, 遠藤俊郎, 田中博史, 横矢勇一,
亀ヶ谷純一

バレーボールにおける映像デバイスを用いたフィード
バックに関する研究

折笠 愛, 中西康己, 秋山 央, 加藤陽一

バレーボール選手におけるワーキングメモリと空間認
識の関係

高野淳司

Bradley-Terryモデルを用いたバレーボールの試合のラ
インアップ分析論に関する研究

島津大宣

バレーボールの試合におけるスターティングライン
アップの2-LS択一方式に関する一考察—

島津大宣

2012年ロンドンオリンピック大会における日本女子
チームの4試合のラインアップ分析に関する研究

島津大宣

●日本ハンドボール学会：ハンドボールリサーチ, 第
3巻, 2014

[実践研究]

ハンドボールにおける1対1の突破阻止に関する動き
のコツ：卓越した防御プレーヤーの語りを手がかりに

船木浩斗, 會田 宏

ハンドボール指導者の熟達化に関する事例研究：新た
なチームを立ち上げ全国大会常連校に育てた若手指導
者の語りを手がかりに

田代智紀, 會田 宏

[研究資料]

ハンドボール競技における連続失点が勝敗に及ぼす影
響

横山克人, 栗山雅倫, 田村修治

男子ハンドボール競技における5対6の数的不利な状
況での攻撃について：学生レベルと世界レベルとを比
較して

藤本 元, 山手就策, ネメシュローランド,
山田永子

[翻訳]

L&Tディフェンスフォーメーション：解説と具体例

山本達也

[報告]

国際コーチングコースにおけるハンドボールコーチ養
成プログラム

井上元輝

●日本フットボール学会：Football Science,
Vol.11, 2014

[Paper]

The Causal Relationship between Dominant Region and
Offense- Defense Performance - Focusing on the Time
of Ball Acquisition

Fumiya Ueda, Honda Masaaki and Horino Hiroyuki
Does a Player whose Ball Juggling Skill is the Best shows
the Best Ability in a Soccer Game? : A Consideration of
the Validity of Skill Tests from a New Viewpoint keeping
Utility in Mind

Nobuyoshi Fumoto and Koji Kumagai

Maturity and Intermittent Endurance in Male Soccer
Players during the Adolescent Growth Spurt : A
Longitudinal Study

Kentaro Chuman, Yoshihiro Hoshikawa,
Tomomi Iida and Takahiko Nishijima

[Materials]

Spectators' Emotions during Live Sporting Events :
Analysis of Spectators after the Loss of the Supported
Team at the 2013 FIFA Confederations Cup

Daichi Oshimi, Munehiko Harada and
Takayuki Fukuhara

Influence of Intermittent Endurance on Individual
Playing Time in Games for U-18 Soccer Players

Kentaro Chuman, Hiroataka Jo, Daisuke Yamada,
Shota Mishio, Kozue Ando and Takahiko Nishijima

[資料]

体力づくりに配慮したゴール型のサッカー授業におけ
る指導プログラムの効果：コートを広さを工夫した8
人制のゲーム教材に着目して

津田龍佑, 井上明浩, 鈴木宏哉, 齊藤一彦

●日本武道学会：武道学研究

・第46巻2号, 2013-2014

[総説]

明代中国における日本刀術の受容とその変容

林 伯原

[研究資料]

柔道指導者講習会の受講生を対象に実施した脳震盪に
関するアンケート調査結果

森崎由理江, 藤田英二, 中村 勇, 山本正嘉

韓国における剣道の導入期に関する一考察

金 炫勇

握力発揮が柔道選手の防御動作反応時間に及ぼす影響

久保田浩史, 渡辺直勇, 渡辺涼子, 佐藤武尊,
山本浩貴

・第46巻1号, 2013-2014

[原著]

直心影流の分派についての一考察: 長沼派・藤川派・
男谷派の試合・修練形態ならびに剣術観の分析を通し
て

軽米克尊, 酒井利信

後ろ受け身動作時における頸部屈筋群の筋活動様式と
頭部に加わる加速度との関係

藤田英二, 濱田初幸, 中村 勇, 小山田和行,
野口博之, 松崎守利, 安河内春彦

「リズムなきなた」の発祥から伝播・発展に関する研
究

福田啓子

弓道選手用心理的スキル尺度の開発

煙山千尋

●日本野外教育学会: 野外教育研究

・第17巻2号, 2014

[原著論文]

野外教育の分析枠組による青少年の自然体験活動遂行
と自然体験蓄積の関係

白木賢信

[調査・実践報告]

着衣泳授業に参加した中学生の地域河川に対する認識
の変容

稲垣良介

各都道府県における山や森の記念日(期間)等の実施
状況と一般市民の意識

市川貴大

●日本陸上競技学会: 陸上競技学会誌, 第12巻, 2014

[原著論文]

「縄飛」に始まる高跳び種目判定用バーの変遷

木下秀明

中学生における短距離走の速度低下に関する動作要因

加藤謙一, 白石竜一郎, 三村達也

小学校高学年の児童における疾走速度推移に関する研
究

藤村美歌, 篠原康男, 前田正登

リバウンドロングジャンプテストの遂行能力からみた
水平片脚跳躍において高い接地速度に対応するための
踏切動作

藤林献明, 荻山 靖, 木野村嘉則, 岡子浩二

国内外110mハードル走選手のハードリング動作に関
する3次元キネマティクスの研究

柴山一仁, 藤井範久, 門野洋介, 阿江通良

[特別寄稿]

2020東京オリンピックへの道

尾縣 貢

[キーノートレクチャー]

トレーニングの基礎・原理を考える

尾縣 貢

コンディショニング概論

眞鍋芳明

[陸上競技Round-up]

トップアスリートとコーチのための“ブロック・ピリ
オダイゼーション”のモデルプラン

青山亜紀, 石塚 浩

●舞踊学会: 舞踊學, 第36巻, 2013

[論文]

《牧神の午後》(1912) 以前のバレエ・リュスにおける
絵画的舞台表象

北原まり子

アンドレ・レヴィンソンと20世紀ダンス

伊藤雅子

[研究報告]

玉置真吉(1885-1970)の社交ダンス前史 — 浅草オ
ペラにおける活動の意義 —

中西みなみ, 杉山千鶴

ブルノンヴィルとデンマークのナショナリズム

折田 彩

学校ダンスとジェンダー観に関する言説の歴史の変容
— 体育専門雑誌の言説分析から —

木場裕紀

[書評]

岡田万里子著『京舞井上流の誕生』

丸茂美恵子

川島京子『日本バレエの母 エリアナ・パブロバ』

尼ヶ崎 彬

小林奈央子『青騎士の誕生』

副島博彦

●ランニング学会: ランニング学研究

・第26巻1号, 2015

[Review Article]

朝練習のトレーニング効果

岩山海渡, 河合美香, 鍋倉賢治, 伊藤静夫

[原著論文]

持久的ランニング能力評価のための20mシャトルランテストの問題点：テストの動機づけと成績との関係について

古俣龍一

[資料]

6時間ウルトラマラソン時の栄養補給に関する事例研究

高山史徳, 八十島崇

上り坂走を得意とする長距離ランナーを判別するための「上り坂適性指数」の提案

森 寿仁, 長尾 俊, 山本正嘉

・第25巻2号, 2014

[原著論文]

北海道マラソンの参加動機の構造と大会満足度に関する研究～Push-Pullに着目して～

大後茂雄, 庄子博人, 間野義之

非アスリートの食事内容自己選択型グリコーゲンローディングにおける糖質摂取量と筋グリコーゲンの変化

塩瀬圭佑, 山田陽介, 上野誠也, 青柳 遼,

飛奈卓郎

[資料]

標準動作モデルによる長距離走フォームの改善に関するバイオメカニクス研究

平田 海, 阿江通良, 榎本靖土, 小林育斗

・第25巻1号, 2014

[原著論文]

市民マラソンレースにおけるランナーの疲労特性とパフォーマンスに関連する要因—いぶすき菜の花マラソンを対象とした調査研究—

森 寿仁, 竹内良人, 太田敬介

21世紀の市民ランナーのランニングスタイル

後藤晴彦, 鳥居 俊

スロージョギングの有効性に関する研究—低速走行と歩行の生理学的データの比較から—

北嶋康雄, 佐々木唯香, 田中宏暁

[資料]

長距離走選手のトレーニング評価指標としての「ランニングポイント」の提案

家吉彩夏, 松村 勲, 山本正嘉